

次期「今後の高等技術専門学院 の運営方針」（仮称）について

答申案

令和8年（2026年）2月18日
北海道労働審議会職業能力開発部会

目次

I. 次期運営方針の策定趣旨	2	(4) 施設外訓練	46
II. MONOテクの現状		(5) 全員参加型社会の実現に向けた取組	50
1. MONOテクの設置根拠	4	(6) 官民の連携	52
2. MONOテクの設置状況	5	(7) 執行体制	57
3. MONOテクの職業訓練	7	(8) 施設・設備の整備等	59
4. MONOテクの訓練科（施設内訓練）	8	VII. 今後の方向性	
5. 入校状況（施設内訓練）	9	1. 基本的な考え方	61
III. MONOテクを取り巻く状況		2. 目標指標	63
1. 人口の推移	12	VIII. 今後の取組	
2. 新規高卒者の進路	13	1. 訓練体制のあり方 ～8校1分校・33科～	65
3. 道内の産業構造	14	2. 訓練内容の不断の見直し ～ニーズに応じた訓練の実施～	67
4. 求人・求職の状況	15	3. 人口対策 ～入校生の確保～	68
IV. MONOテクの強み		IX. 推進管理	70
1. 企業からの求人数の多さ	17	X. 参考資料	
2. 離職率の低さ	18	1. 10職系33訓練科	72
3. 就職率の高さ	19	2. 地域の関係機関からの意見	77
4. 企業誘致につながる例	21	3. 入校状況（H20～R7年度）	81
V. MONOテクの課題		4. 訓練科目の評価（R元～R6年度）	83
1. 入校者数の減少	23	5. MONOテクにおける取組事例	94
2. 認知度の低さ	27	6. 「今後の高等技術専門学院の運営方針」の概要	96
3. 入校者のうち新規高卒者が占める割合の高さ	28		
VI. H31年3月策定の「運営方針」の点検・評価			
1. 概要	30		
2. 地域の関係機関からの意見	31		
3. 運営方針（H31年3月策定）の目標指標の達成状況	32		
4. 点検・評価			
(1) 訓練体制	33		
(2) 施設内訓練	34		
(3) 入校生の確保対策	40		

I . 次期運営方針の策定趣旨

I. 次期運営方針の策定趣旨

- 次期運営方針は、訓練の体制や内容、その他運営に関わる基本的な方針。
現在の「運営方針」の対象期間がR7年度で終わるため、R8年度を始期とするこの方針を策定。

MONOテクの役割

高等技術専門学院（MONOテク）は、道立の公共職業能力開発施設として、機械、金属加工、建築など、道内のものづくり産業などを支える質の高い人材を育成し、地域に送り出している。

- ・施設内訓練 = 新規高卒者や既卒者向け
- ・委託訓練 = 離転職者向け。民間に業務委託して実施
- ・在職者訓練 = 在職者（企業の従業員）向け

今後の高等技術専門学院の運営方針(H31年3月策定)

◆趣旨 訓練体制や内容、科目、その他運営に関わる基本的な方針

◆対象期間 2019(H31)～2025(R7)年度

◆基本的な考え方

- ①地域産業を支える人材の育成
- ②全員参加型社会の実現への貢献
- ③官民の効果的な連携

◆具体的な取組例

【訓練体制】 8校1分校体制の維持、【施設内訓練】ものづくり関連分野への重点化／訓練科目やカリキュラムの見直し、【施設外訓練】委託訓練や能力開発セミナー（在職者訓練）の着実な実施、【入校生の確保】広報・PR活動の充実・強化／通称名の導入／学び直し「自己推薦制度」の拡充、【執行体制】指導員の資質向上、【施設・設備の整備等】施設の改修・修繕／実習用機器の計画的な更新・整備

<今回>次期運営方針

◎取り巻く状況

人口減少と少子高齢化、また、雇用情勢の改善により、多くの業界で人手不足の状態が続いている。

◎課題

MONOテクのR7年度定員充足率は41.5%（施設内訓練）と半分以下であり、地域ニーズへの人材輩出が充分に対応できていない。

◎今回の策定

これまで、H31年3月策定の運営方針に基づき、8校1分校で職業訓練を実施。

今後も、地域経済を支える中核的な人材育成機関としての役割を果たしていくために、訓練体制などに関する基本的な方針を定めるもの。

◎対象期間

令和8年度～12年度（5年間）

II. MONOテクの現状

II. MONOテクの現状

1. MONOテクの設置根拠

- MONOテク（道立高等技術専門学院）は、職業能力開発促進法や道条例に基づき、道が設置する「職業能力開発校」。「職業能力開発校」は、全ての都道府県で設置されている。

国（法律）

■職業能力開発促進法（抜粋）

（目的）

第一条 労働施策総合推進法と相まつて、職業訓練及び職業能力検定の内容の充実強化及びその実施の円滑化のための施策並びに労働者が自ら職業に関する教育訓練又は職業能力検定を受ける機会を確保するための施策等を総合的かつ計画的に講ずることにより、職業に必要な労働者の能力を開発し、及び向上させることを促進し、もつて、職業の安定と労働者の地位の向上を図るとともに、経済及び社会の発展に寄与する。

（国及び都道府県が行う職業訓練等）

第十五条の七 国及び都道府県は、労働者が段階的かつ体系的に職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することができるように、次の各号に掲げる施設を第十六条に定めるところにより設置して、当該施設の区分に応じ当該各号に規定する職業訓練を行うものとする。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 一 職業能力開発校 | [MONOテク(高等技術専門学院)] |
| 二 職業能力開発短期大学校 | |
| 三 職業能力開発大学校 | [ポリテクカレッジ(小樽(銭函))] |
| 四 職業能力開発促進センター | [ポリテクセンター(札幌、函館、旭川、釧路)] |
| 五 障害者職業能力開発校 | [国が設置し、道が運営受託。砂川] |

（公共職業能力開発施設）

第十六条 国は、職業能力開発短期大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発促進センター及び障害者職業能力開発校を設置し、都道府県は、職業能力開発校を設置する。

北海道（条例）

■北海道立高等技術専門学院条例（抜粋）

（設置、名称及び位置）

第1条 職業能力開発促進法第15条の7第1項第1号の職業能力開発校として、北海道立高等技術専門学院（以下「学院」という。）を設置する。

2 学院の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
北海道立札幌高等技術専門学院	札幌市
北海道立函館高等技術専門学院	函館市
北海道立旭川高等技術専門学院	旭川市
北海道立北見高等技術専門学院	北見市
北海道立室蘭高等技術専門学院	室蘭市
北海道立苫小牧高等技術専門学院	苫小牧市
北海道立帯広高等技術専門学院	帯広市
北海道立釧路高等技術専門学院	釧路市

第2条 知事は、必要な地に、学院の分校を設けることができる。

II. MONOテクの現状

2. MONOテクの設置状況

- MONOテクは、6つの連携地域を基本に、8校1分校を設置。
自動車関連企業など「ものづくり」関連企業の集積が進む道央には、札幌・室蘭・苫小牧の3校を配置。



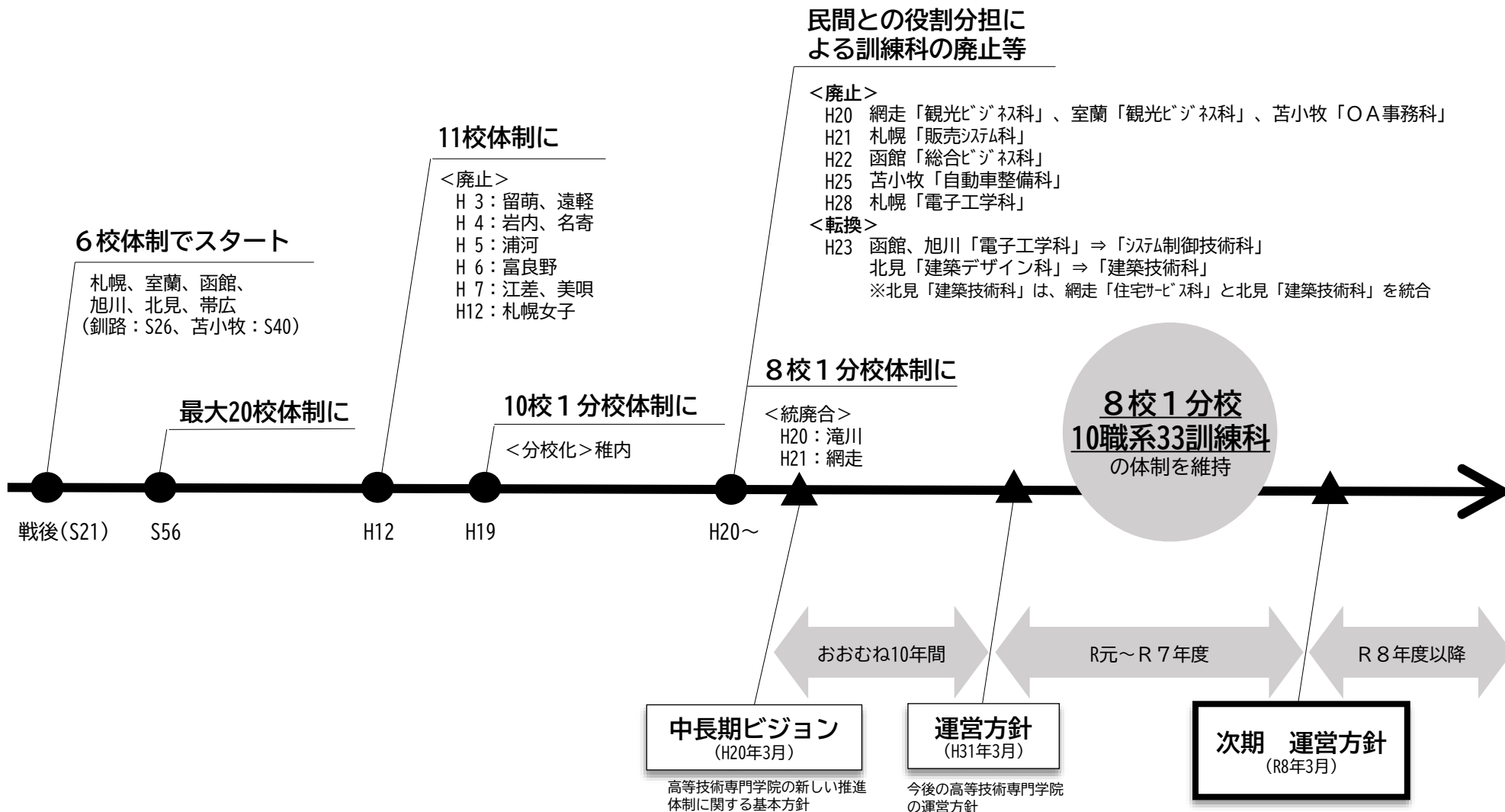
6つの連携地域

●道では、北海道行政基本条例に基づき、長期的な展望に立って、道の政策の基本的な方向を総合的に示す「北海道総合計画」をR6年度に策定。

●この総合計画では、一定の人口規模以上で、行政をはじめ経済、医療、教育、文化などの面で拠点性の高い札幌市、函館市、旭川市、釧路市、帯広市及び北見市を「中核都市」と位置付け、これらを拠点とする6つのエリアを「連携地域」として設定している。

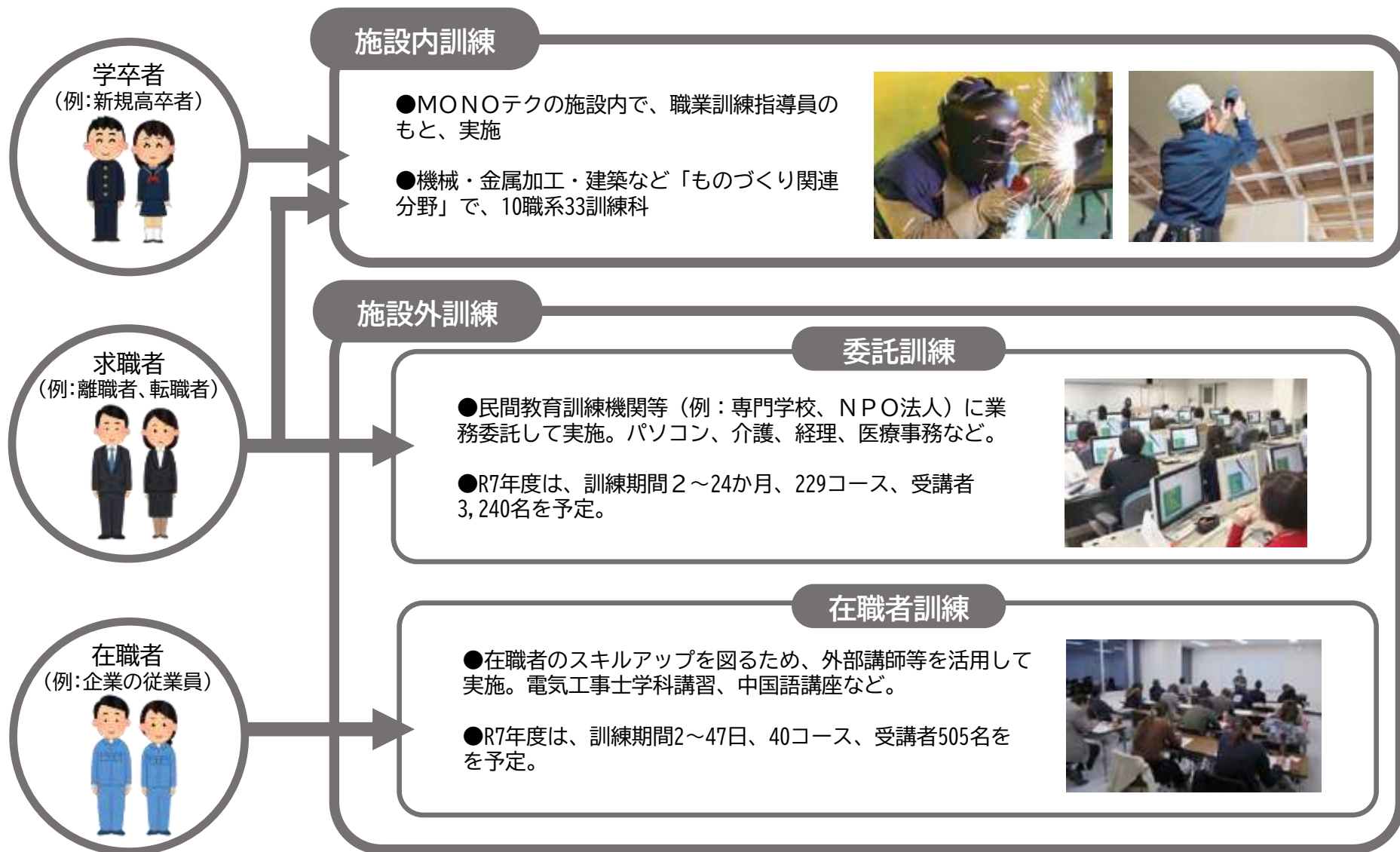
MONOテクの変遷

- 戦後6校でスタートしてS56に最大20校となったが、廃止や統廃合などにより現在は8校1分校の体制。



3. MONOテクの職業訓練

- MONOテクでは、学卒者や求職者への「施設内訓練」、求職者への「委託訓練」、企業の従業員への「在職者訓練」を実施。



II. MONOテクの現状

4. MONOテクの訓練科（施設内訓練）

- MONOテクの施設内訓練では、機械・金属加工・建築など「ものづくり」関連分野の職業訓練を行っている。10職系33訓練科があり、R7年度入校定員は475名。

MONOテクの訓練科（施設内訓練） 10職系33科

①機械系

自動車や家電製品など「ものづくり」に必要な機械加工技術を習得し、技能者として活躍できる人材を目指す。

<R7年度入校定員：5科・計50名>

②金属加工系

ビルや橋などの鉄鋼構造物における金属材料の溶接作業や成形加工、工作機械類の操作方法を習得する。

<R7年度入校定員：4科・計40名>

③建築施工系

手工具の使い方や木材の加工など建築施工の基礎から、模擬家屋の製作など実践的な技能を習得する。

<R7年度入校定員：6科・計80名>

④印刷・製本系

ポスター・カタログ・チラシなどの印刷物について、企画からデザイン・印刷・製本まで、技能を習得する。

<R7年度入校定員：2科・計30名>

⑤設備施工系

給排水、冷暖房など建築設備の知識技能を習得し、施行技術者や現場監督として活躍できる人材を目指す。

<R7年度入校定員：1科・計20名>

⑥電力系

電気設備の設計・施工を中心に、配線工事や高圧電気設備など幅広い分野で活躍できる技能者を目指す。

<R7年度入校定員：4科・計55名>

⑦第2種自動車系

自動車の基本構造を理解し、車両整備全般の実務能力を習得した自動車整備士を目指す。

<R7年度入校定員：5科・計100名>

⑧木材加工系

木工工具・機械を利用した木材加工技術を習得し、椅子やテーブルなどの家具や建具の製作技術を学ぶ。

<R7年度入校定員：3科・計45名>

⑨電気・電子系

コンピュータによって制御される機器や設備の設計、製作、メンテナンスなどができる実践的的技能者を目指す。

<R7年度入校定員：2科・計40名>

⑩塗装系・デザイン系

塗装や広告サイン製作の技術を習得し、印象豊かな演出ができる色彩のプロフェッショナルを目指す。

<R7年度入校定員：1科・計15名>



II. MONOテクの現状

5. 入校状況（施設内訓練）

- 令和7年度の入校状況は、総定員975名に対して、在籍数は339名（9月末現在）。
なお、在籍数が1名以下となっている科は、1年で8科、2年で4科。

【R7年度の入校状況】

		定員			入校者数			在籍数（R7年9月末）		
		1年	2年	計	1年（R7）	2年（R6）	計	1年	2年	計
札幌	精密機械科	10	20	30	5	6	11	5	5	10
	金属加工科	10	10	20	1	7	8	1	6	7
	建築技術科	20	20	40	5	5	10	5	4	9
	電子印刷科	10	20	30	5	6	11	4	5	9
	建築設備科	20	20	40	15	8	23	12	5	17
	計	70	90	160	31	32	63	27	25	52
函館	自動車整備科	20	20	40	11	13	24	11	11	22
	システム制御技術科	20	20	40	10	11	21	7	2	9
	機械技術科	10	10	20	2	2	4	2	2	4
	建築技術科	10	10	20	4	4	8	3	4	7
計	60	60	120	27	30	57	23	19	42	
旭川	建築技術科	15	15	30	7	12	19	7	9	16
	システム制御技術科	20	20	40	6	15	21	6	8	14
	自動車整備科	20	20	40	16	9	25	13	7	20
	印刷デザイン科	20	20	40	17	8	25	15	8	23
	造形デザイン科	20	20	40	7	4	11	7	4	11
	色彩デザイン科	15	20	35	2	9	11	1	8	9
	計	110	115	225	55	57	112	49	44	93
	電気工学科	10	10	20	2	3	5	2	2	4
北見	自動車整備科	20	20	40	12	8	20	10	8	18
	造形デザイン科	10	10	20	4	5	9	4	3	7
	建築技術科	10	10	20	2	2	4	1	2	3
	機械技術科	10	10	20	5	3	8	5	3	8
計	60	60	120	25	21	46	22	18	40	

		定員			入校者数			在籍数（R7年9月末）		
		1年	2年	計	1年（R7）	2年（R6）	計	1年	2年	計
室蘭	金属加工科	10	10	20	1	4	5	1	4	5
	精密機械科	10	10	20	1	1	2	1	1	2
	計	20	20	40	2	5	7	2	5	7
苫小牧	金属加工科	10	10	20	2	2	4	2	1	3
	精密機械科	10	10	20	3	1	4	3	1	4
	電気工事科	10	10	20	3	4	7	2	2	4
計	30	30	60	8	7	15	7	4	11	
帯広	建築技術科	15	15	30	2	10	12	1	9	10
	電気工学科	20	20	40	8	5	13	6	5	11
	造形デザイン科	15	15	30	5	6	11	5	6	11
	金属加工科	10	10	20	0	5	5	0	4	4
自動車整備科	20	20	40	16	15	31	15	14	29	
計	80	80	160	31	41	72	27	38	65	
釧路	電気工学科	15	15	30	7	6	13	7	6	13
	建築技術科	10	10	20	1	1	2	1	0	1
	自動車整備科	20	20	40	10	7	17	10	5	15
計	45	45	90	18	14	32	18	11	29	
合計	475	500	975	197	207	404	175	164	339	

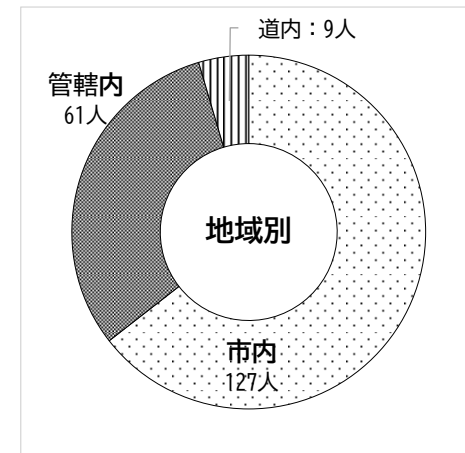
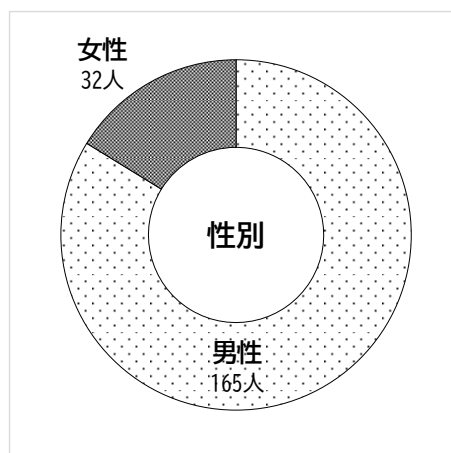
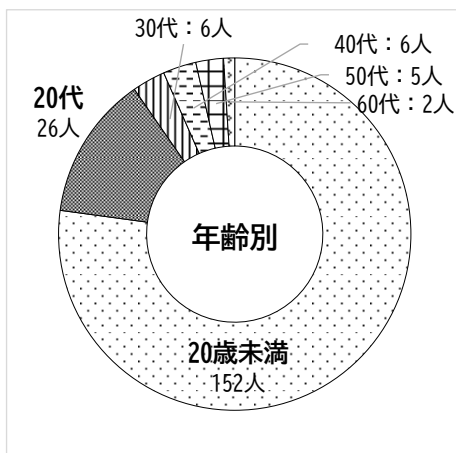
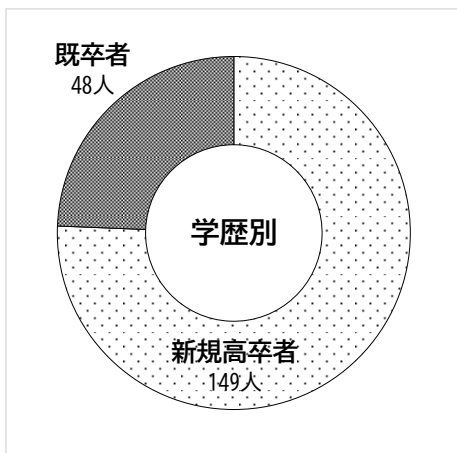
	定員	入校者数	在籍数（R7年9月末）
1年	475	197	175
2年	500	207	164
計	975	404	339

※入校者数と在籍数の差は、中退者（就職、進路変更等）や1年制による修了者

入校者の属性

- R7年度入校者を属性別にみると、学歴別では「新規高卒者」が7割以上、年齢別では「20代未満と20代」が9割を占めている。「性別」では8割以上が男性、「地域別」では地元（市内や管轄内）からの入校が9割以上を占めている。

【R7年度入校生の属性】



	人数	割合
新規高卒者	149	75.6%
既卒者	48	24.4%
計	197	100.0%

	人数	割合
20歳未満	152	77.2%
20代	26	13.2%
30代	6	3.0%
40代	6	3.0%
50代	5	2.5%
60代	2	1.0%
計	197	100.0%

	人数	割合
男性	165	83.8%
女性	32	16.2%
計	197	100.0%

	人数	割合
市内	127	64.5%
管轄内	61	31.0%
道内	9	4.6%
計	197	100.0%

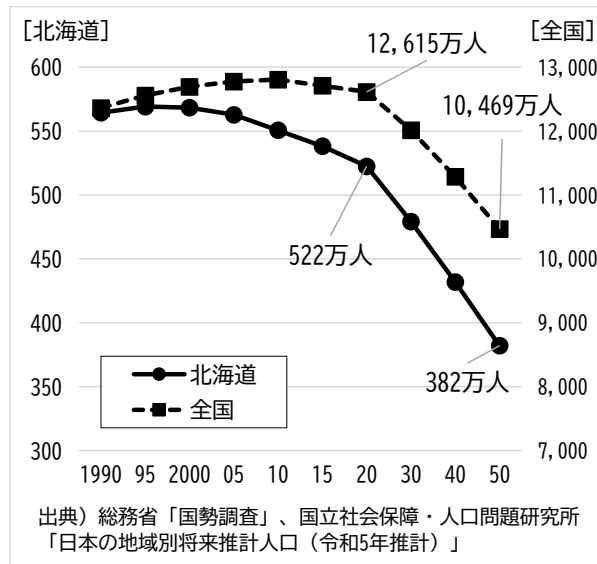
Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

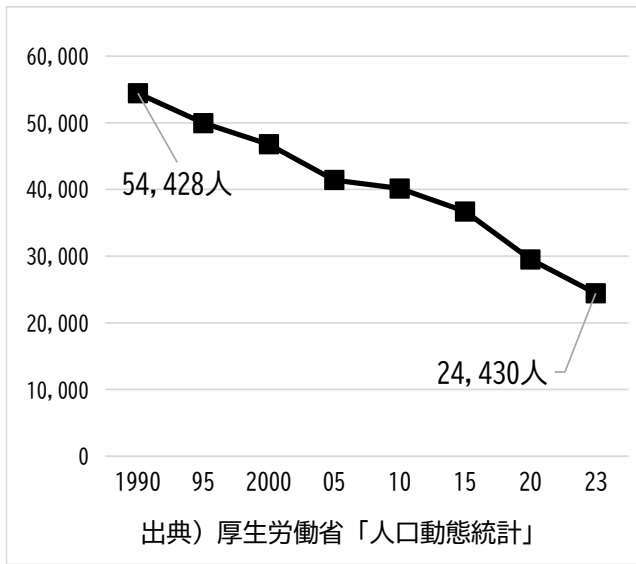
1. 人口の推移

- 道内は少子高齢化が進行しており、全国を上回るスピードで人口減少が続いている。生産年齢人口（15～64歳）の割合も、2050年には50%を下回る見込み。

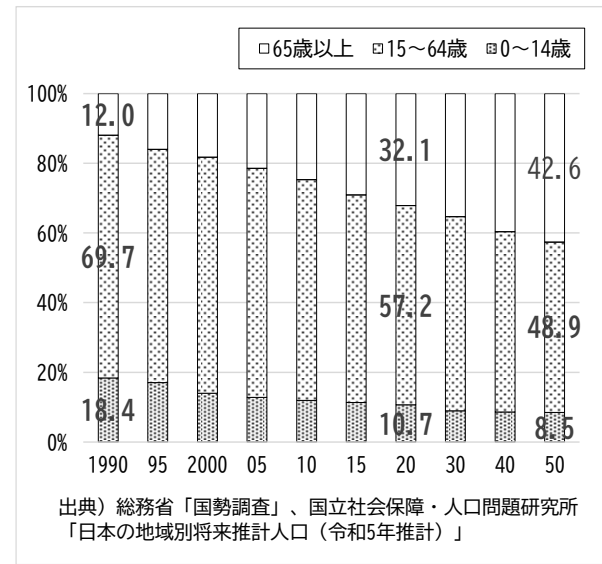
【人口の推移】



【道内の出生数】



【人口の推移(年齢区分別)】



◆道内の人口は、平成9年(1997年)に569万人に達してから減少傾向にあり、令和32年(2050年)の推計人口は382万人と見込まれている。

◆道内の出生者は、平成2年(1990年)の54,428人から、令和5年(2023年)は24,430人に減少。

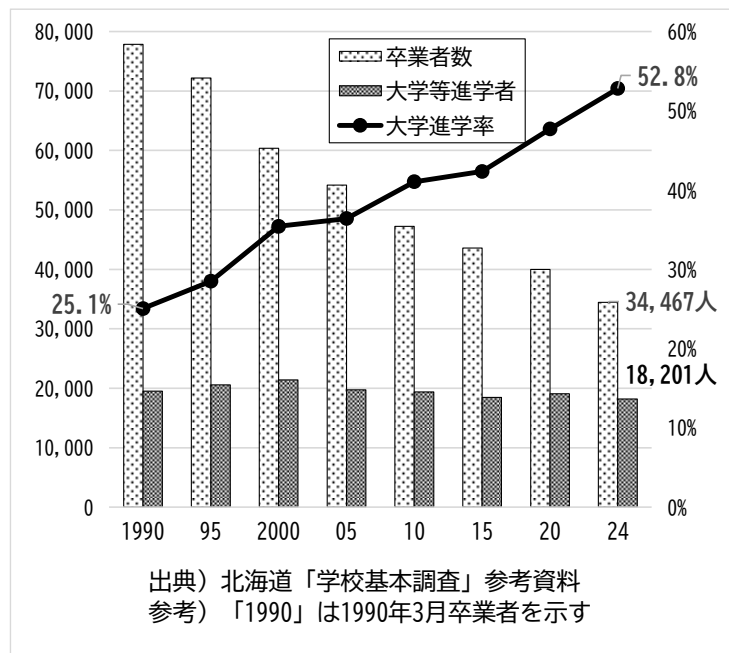
◆年齢区分別で見ると、1990年代後半に、0～14歳(年少人口)と65歳以上(高齢者人口)の構成比が逆転。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

2. 新規高卒者の進路

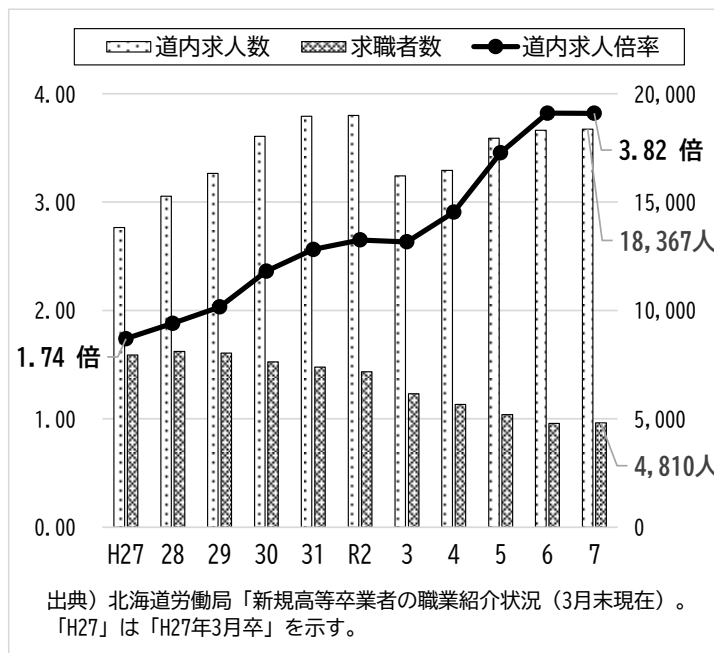
- 大学への進学率、新規高卒者の求人倍率は、近年、上昇・増加傾向にある。
MONOテク入校者の7割以上が新規高卒者（10頁）であるため、こうした傾向が入校者数の減少に影響を与えている。

【大学進学率】



◆2024年(R6年)の大学進学率は52.8%で、1990年(H2年)の25.1%と比べると、大きく上昇している。

【新規高卒者の求人倍率】



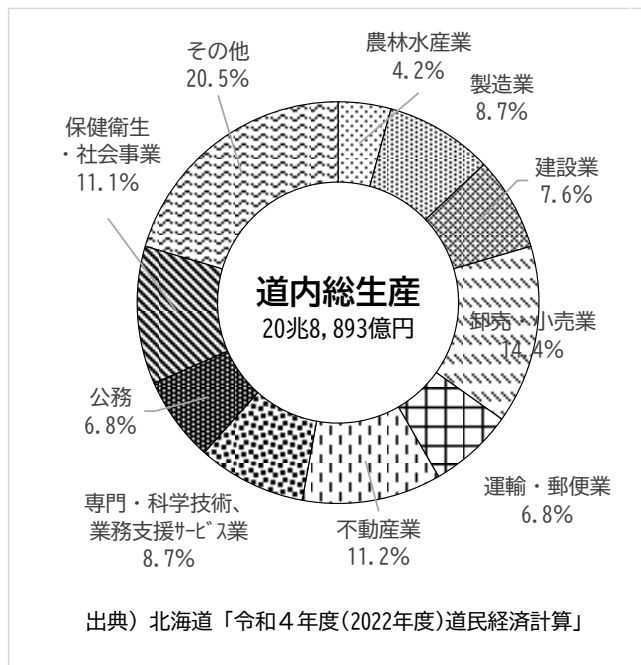
◆新規高卒者の求人倍率は、R7年3月卒業者で3.82倍で、10年前のH27年の1.74倍と比べると、大きく増加している。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

3. 道内の産業構造

- MONOテクの職業訓練では、ものづくり関連分野の知識や技能の習得を目指す。
修了生の活躍の場となる「製造業」は、道内総生産のうち8.7%を占め、苫小牧市や札幌市など道央圏が盛ん。

【道内総生産】



◆道内総生産の構成は、

- ・第1次産業（農林水産業）4.2%
- ・第2次産業（鉱業、製造業、建設業）16.4%、
- ・第3次産業（卸売・小売業、サービス業など）77.7%となっている。

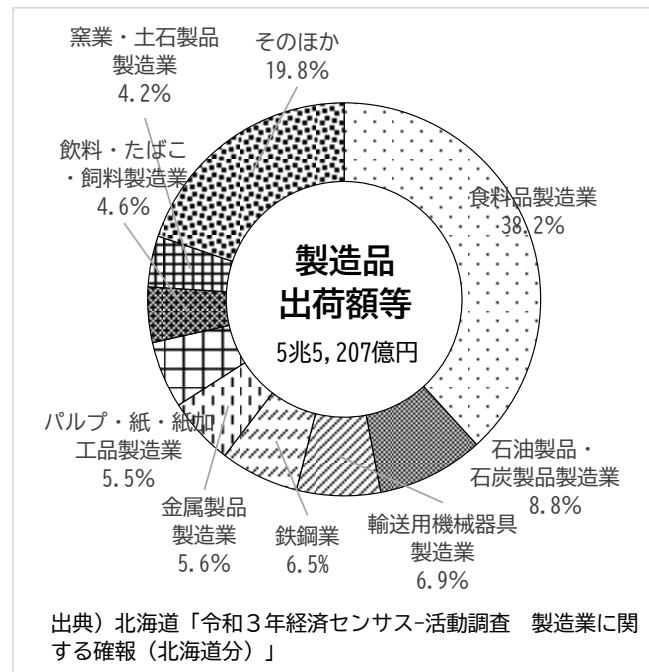
【製造品出荷額等（市町村別）】

順位	市町村名	製造品出荷額等 (百万円)	構成比
1	苫小牧市	1,006,821	18.2%
2	札幌市	578,019	10.5%
3	室蘭市	337,978	6.1%
4	釧路市	234,614	4.2%
5	千歳市	232,714	4.2%
全道計		5,520,754	100.0%

出典) 北海道「令和3年経済センサス-活動調査-活動調査製造業に関する確報（北海道分）」

- ◆道内の製造品出荷額等を市町村別で見ると、苫小牧市が最も多く、次いで、札幌市、室蘭市となっている。

【製造品出荷額等】



◆道内の製造品出荷額等は、産業中分類別の構成比で見ると、

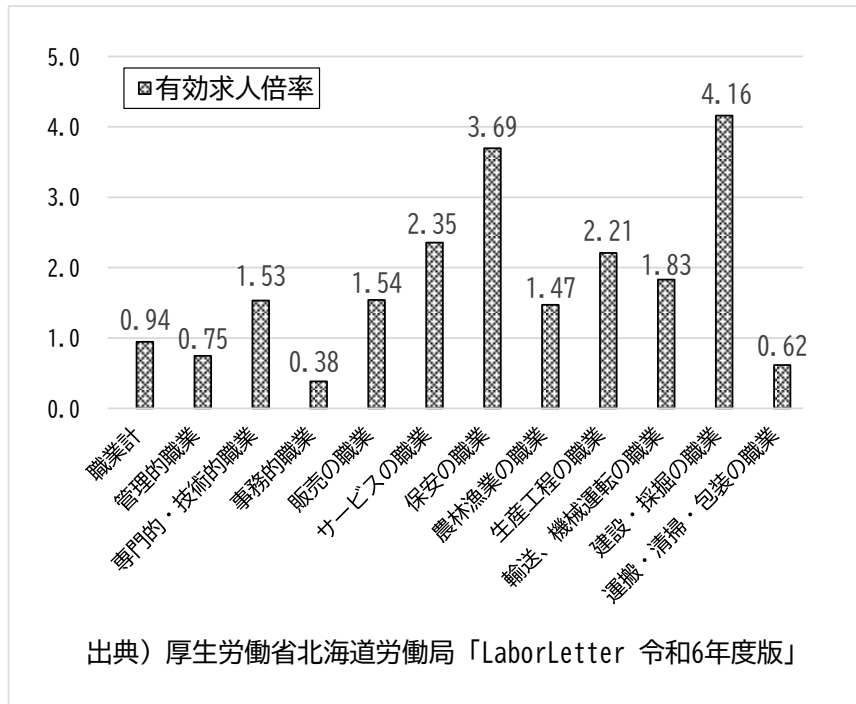
- ・食料品製造業 38.2%
 - ・石油製品・石炭製品製造業 8.8%
 - ・輸送用機械器具製造業 6.9%
- の順になっている。

Ⅲ. MONOテクを取り巻く状況

4. 求人・求職の状況

- 令和6年度の求人・求職の状況は、生産工程の職業2.21倍、建設・採掘の職業4.16倍と高い。一方、事務的職業0.38倍など、職種によって、求人と求職のミスマッチが見られる。

【令和6年度 道内の有効求人倍率】



【同左（詳細）】

区分	有効求人倍率	有効求人数	有効求職者数
職業計	0.94	79,367	84,025
管理的職業	0.75	121	162
専門的・技術的職業	1.53	17,413	11,368
開発・製造技術者	0.88	455	520
建築・土木・測量技術者	5.84	2,833	485
情報処理・通信技術者	0.87	1,047	1,201
医師、薬剤師等	2.21	486	220
看護師、保健師等	1.48	4,233	2,868
医療技術者、栄養士等	1.89	2,262	1,195
保育士、福祉相談員等	2.09	4,999	2,396
事務的職業	0.38	7,659	19,949
販売の職業	1.54	6,991	4,534
サービスの職業	2.35	20,048	8,519
保安の職業	3.69	2,131	577
農林漁業の職業	1.47	1,003	681
生産工程の職業	2.21	6,701	3,036
生産機械制御・監視員	1.59	182	115
金属加工、溶接・溶断工	2.54	813	320
その他の製造加工作業員	1.91	2,905	1,523
機械組立工	1.58	295	187
整備工・修理工	4.60	1,994	434
製品検査工	2.30	172	75
塗装、CADオペレーター	0.89	339	382
輸送・機械運転の職業	1.83	5,512	3,012
建設・採掘の職業	4.16	5,263	1,265
型枠大工、とび工	5.52	931	169
大工・左官	3.41	1,175	345
電気工事、電気配線工	3.37	838	249
建設・土木作業員	4.60	2,303	501
運搬・清掃・包装の職業	0.62	6,525	10,606

出典) 厚生労働省北海道労働局「LaborLetter 令和6年度版」

参考) 有効求職者数は、分類不能等のものが存在するため、職業計と内訳が一致しない

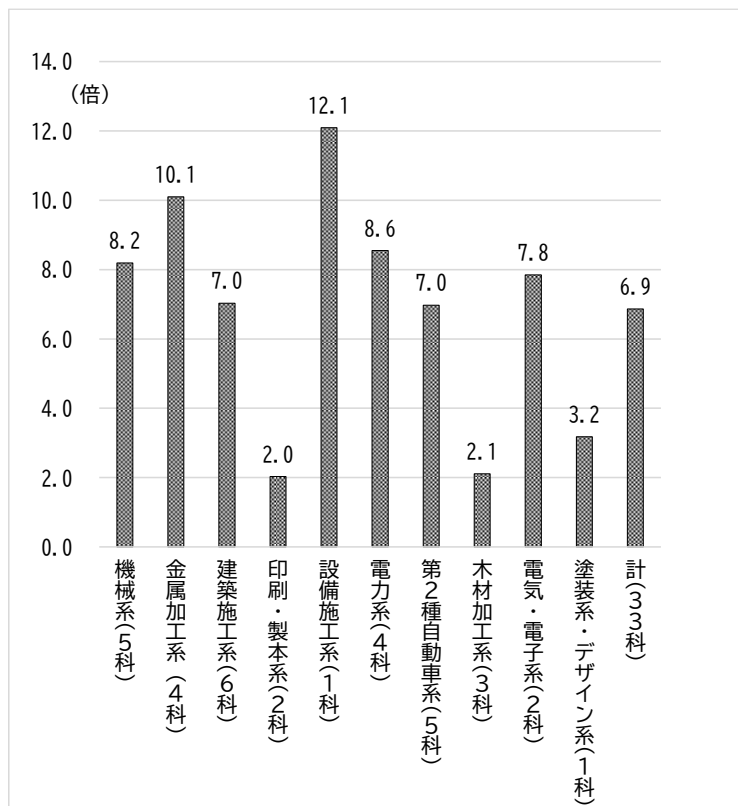
IV. MONOテクの強み

IV. MONOテクの強み

1. 企業からの求人数の多さ

- 企業からMONOテクに対する求人倍率は、6.9倍（R元～6年度平均）。
設備施工系（建築設備科）12.1倍で最も高く、次いで、金属加工系10.1倍、電力系8.6倍の順になっている。

【MONOテクに対する求人倍率（職系別）】



機械系(5科)

	札幌	函館	北見	室蘭	苫小牧	計
就職希望者	56	24	19	28	12	139
求人数	277	289	155	186	232	1,139
求人倍率	4.9	12.0	8.2	6.6	19.3	8.2

金属加工系(4科)

	札幌	室蘭	苫小牧	帯広	計
就職希望者	35	18	6	34	93
求人数	323	180	234	202	939
求人倍率	9.2	10.0	39.0	5.9	10.1

建築施工系(6科)

	札幌	函館	旭川	北見	帯広	釧路	計
就職希望者	66	27	43	29	33	26	224
求人数	343	363	271	209	224	165	1,575
求人倍率	5.2	13.4	6.3	7.2	6.8	6.3	7.0

印刷・製本系(2科)

	札幌	旭川	計
就職希望者	36	55	91
求人数	100	85	185
求人倍率	2.8	1.5	2.0

設備施工系(1科)

	札幌	計
就職希望者	53	53
求人数	641	641
求人倍率	12.1	12.1

電力系(4科)

	北見	苫小牧	帯広	釧路	計
就職希望者	24	22	73	33	152
求人数	240	346	482	232	1,300
求人倍率	10.0	15.7	6.6	7.0	8.6

第2種自動車系(5科)

	函館	旭川	北見	帯広	釧路	計
就職希望者	79	53	54	76	57	319
求人数	525	322	431	487	459	2,224
求人倍率	6.6	6.1	8.0	6.4	8.1	7.0

木材加工系(3科)

	旭川	北見	帯広	計
就職希望者	55	26	47	128
求人数	107	87	76	270
求人倍率	1.9	3.3	1.6	2.1

電気・電子系(2科)

	函館	旭川	計
就職希望者	44	42	86
求人数	407	268	675
求人倍率	9.3	6.4	7.8

塗装系・デザイン系(1科)

	札幌	計
就職希望者	34	34
求人数	108	108
求人倍率	3.2	3.2

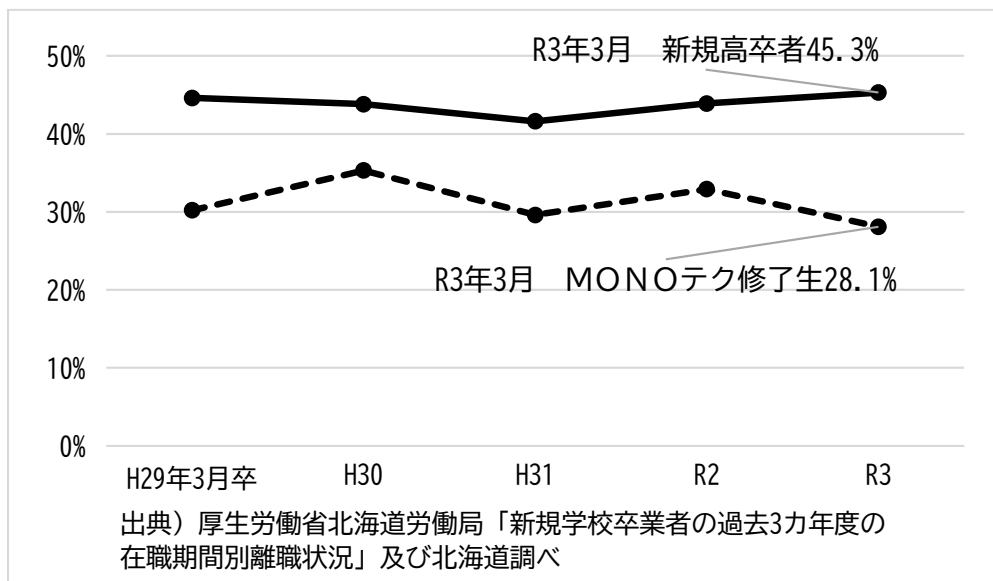
計(33科)

	計
就職希望者	1,319
求人数	9,056
求人倍率	6.9

2. 離職率の低さ

- 就職してから3年後の離職率は、高校卒業者45.3%、MONOテク28.1%（R3年3月卒業・修了者の場合）。H29年3月～R3年3月卒業・修了者に係る離職率では、それぞれ10ポイントほどの開きが見られる。

【離職率の推移】



【離職率の業種別・訓練科別の内訳】

R3年3月 新規高卒者45.3%の内訳

建設業	44.4%
製造業	39.0%
情報通信業	38.6%
運輸業・郵便業	43.6%
卸売・小売業	47.4%
宿泊業、飲食サービス業	64.7%
生活関連サービス業・娯楽業	63.7%
医療・福祉	49.1%
サービス業（他に分類されないもの）	54.7%

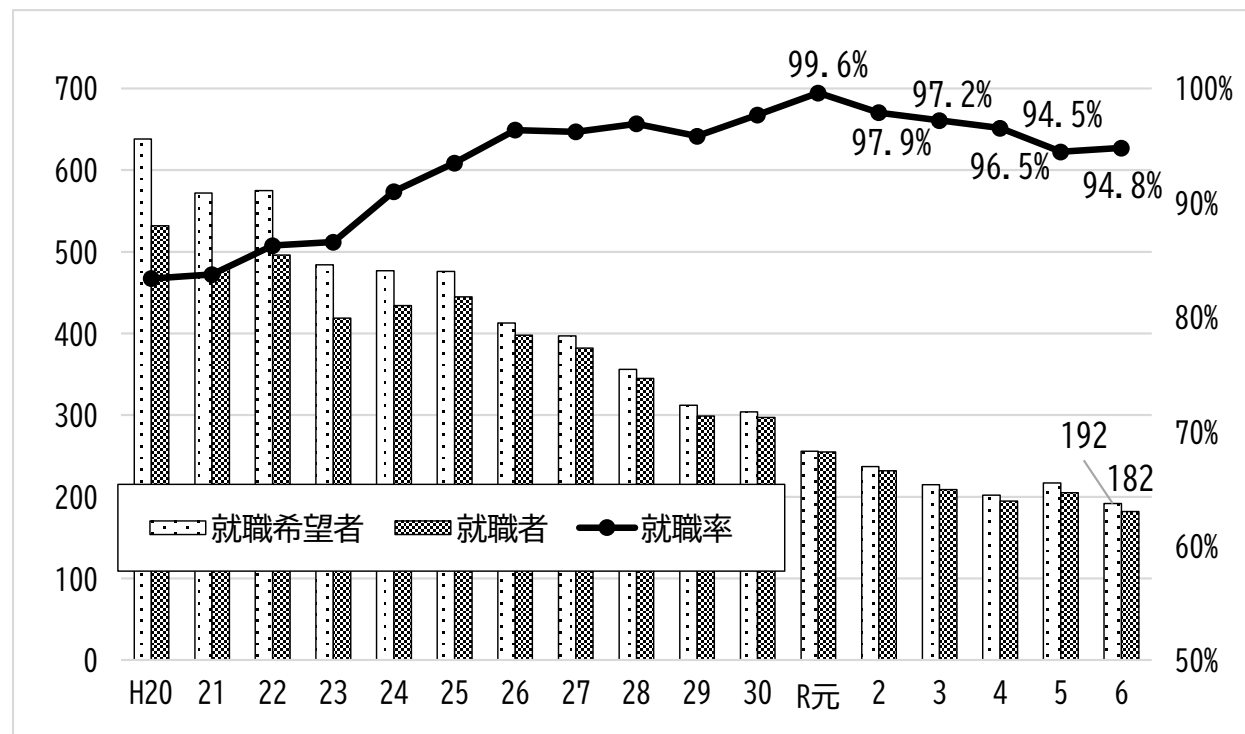
R3年3月 MONOテク修了生28.1%の内訳

機械系	17.4%
金属加工系	42.9%
建築施工系	37.8%
印刷・製本系	14.3%
設備施工系	40.0%
電力系	15.4%
第2種自動車系	34.4%
木材加工系	29.2%
電気・電子系	9.1%
塗装系・デザイン系	20.0%

3. 就職率の高さ

- MONOテク修了生の就職率は、令和元～6年度では94%以上で推移。

【近年の就職率】

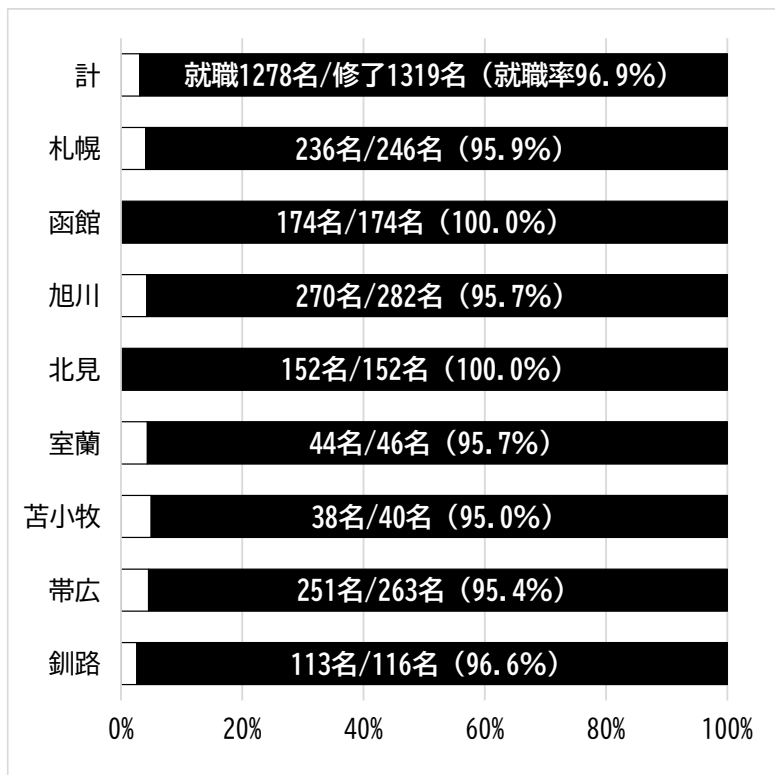


	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
就職希望者	638	572	575	484	477	476	413	397	356	312	304	256	237	215	202	217	192
就職者	532	479	496	419	434	445	398	382	345	299	297	255	232	209	195	205	182
就職率	83.4%	83.7%	86.3%	86.6%	91.0%	93.5%	96.4%	96.2%	96.9%	95.8%	97.7%	99.6%	97.9%	97.2%	96.5%	94.5%	94.8%

近年の就職率（MONOテク別、職系別）

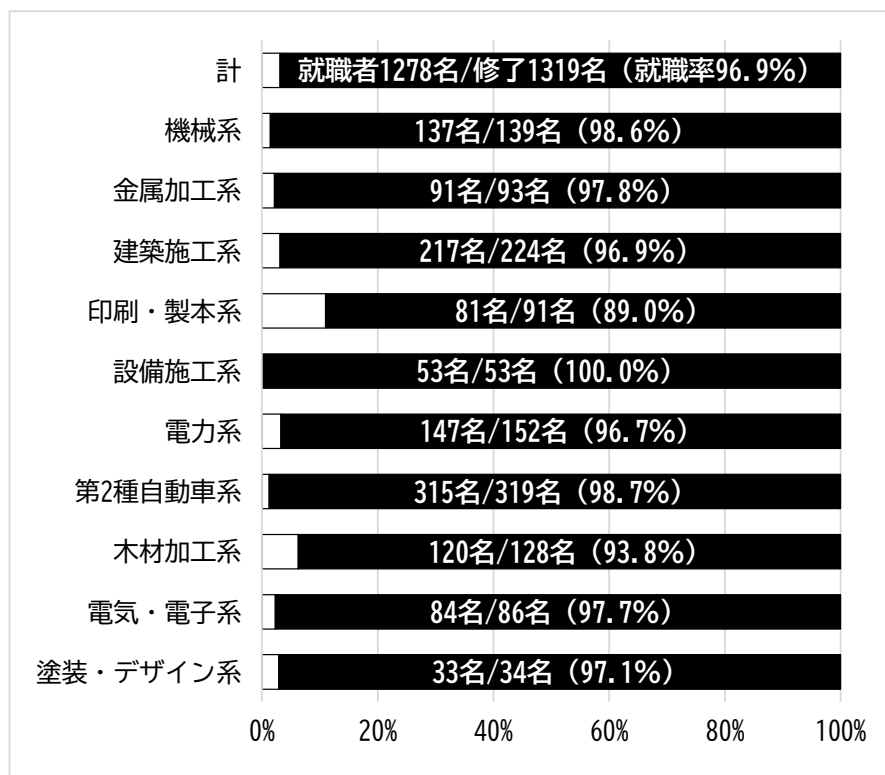
● R元～6年度は、就職希望者1,319名に対して1,278名が就職決定し、就職率は96.9%。

【近年の就職率（MONOテク別）】



◆MONOテク別では、函館と北見が就職率100%となっている。

【近年の就職率（職系別）】



◆職系別では、
 ・設備施工系（建築設備科） 100.0%
 ・第2種自動車系（自動車整備科） 98.7%
 ・機械系（精密機械科、機械技術科） 98.6%
 の順になっている。

4. 企業誘致につながる例

- 2026年、アイラーセン（デンマーク）が旭川市内で高級ソファ工場を開設予定。
MONOテク旭川（造形デザイン科）で家具職人を育成していることが、進出の決め手の一つに。

造形デザイン科

未来のライフスタイルを創造する

2 Years of Learning 2年間の学び

入学	1年次	2年次	修了
<ul style="list-style-type: none"> 基礎デザイン 基礎木工 基礎機械 基礎塗装 基礎組立 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎デザイン 基礎木工 基礎機械 基礎塗装 基礎組立 	<ul style="list-style-type: none"> 家具設計 家具製作 家具販売 家具メンテナンス 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業制作 卒業発表

主な授業科目

- 基礎デザイン
- 基礎木工
- 基礎機械
- 基礎塗装
- 基礎組立
- 家具設計
- 家具製作
- 家具販売
- 家具メンテナンス
- 卒業制作
- 卒業発表

進路可能な資格・検定

- 木工技能士
- 家具技能士
- 家具販売士
- 家具メンテナンス士



◆アイラーセン社は、旭川市西神楽で閉校となった小中学校（旧旭川市立千代ヶ岡小学校、同中学校）の跡地に、製造工場を開設予定。

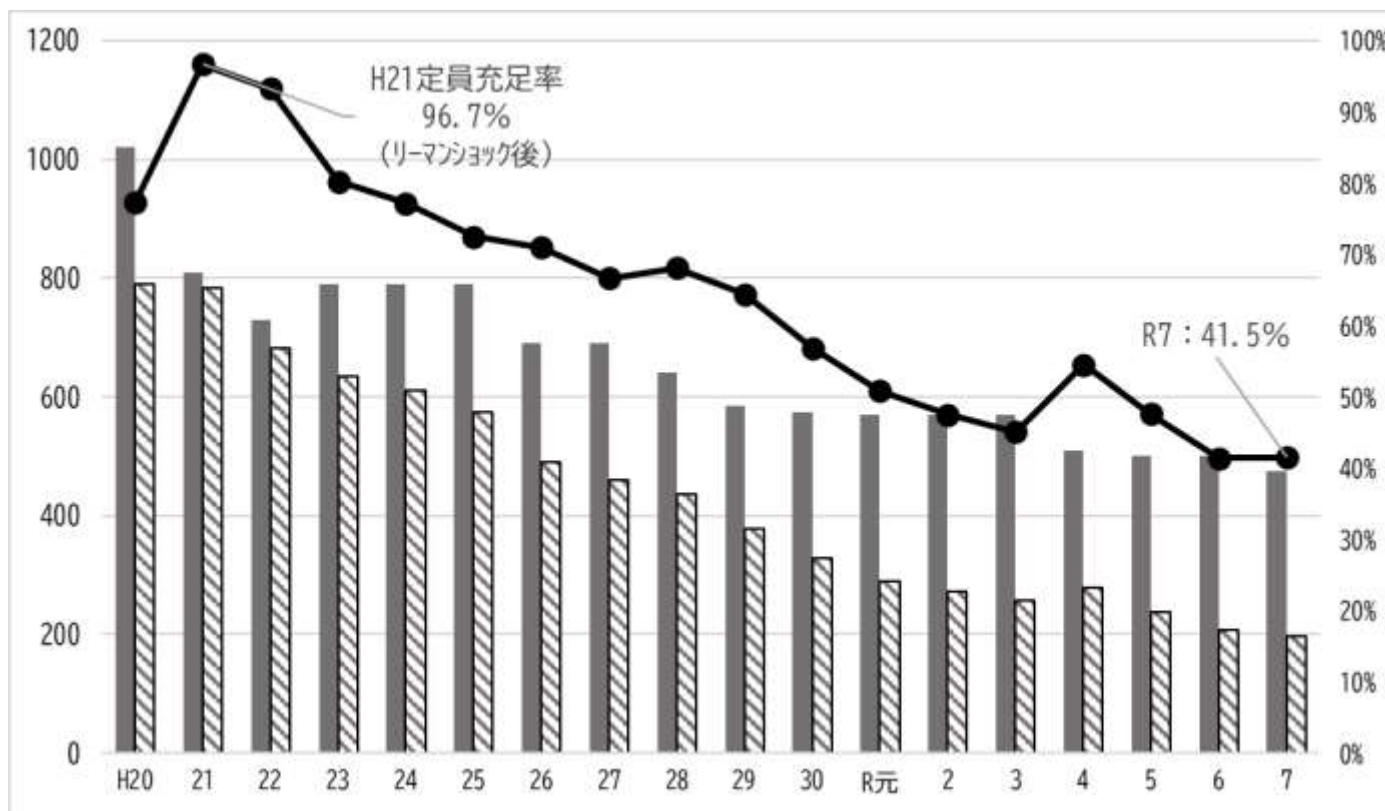
◆MONOテク旭川「造形デザイン科」では木材を素材に、イス・テーブル・本棚などの家具や建具の製作技術を学ぶ。

出典) MONOテク旭川 パンフレット

V. MONOテクの課題

1. 入校者数の減少

- 定員充足率（入校者÷入校定員）は、リーマンショック後のH21年度の96.7%をピークに減少傾向。R7年度の41.5%は前年度比0.1ポイント増であるが、入校定員の削減によるもので、入校者数は前年度比10人減の197人。



	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7
入校定員	1020	810	730	790	790	790	690	690	640	585	575	570	570	570	510	500	500	475
入校者	789	783	681	634	610	573	490	460	436	377	327	290	271	257	278	238	207	197
定員充足率	77.4%	96.7%	93.3%	80.3%	77.2%	72.5%	71.0%	66.7%	68.1%	64.4%	56.9%	50.9%	47.5%	45.1%	54.5%	47.6%	41.4%	41.5%

入校状況と入校定員

- MONOテクの入校定員は、入校者数が3年連続して入校定員の1/2以下となる場合に、見直しを行っている。さらに、一定の条件に該当する場合には「改廃を含めた検討」の対象となっている。

【入校定員の見直し】

H30年度575名から、R7年度475名に削減（▲100名の削減）。

	入校定員			内訳 (定員減になった訓練科)
	H30	R7	増減	
札幌	100	70	▲30	精密機械科▲10、金属加工科▲10、電子印刷科▲10
函館	70	60	▲10	機械技術科▲10
旭川	120	110	▲10	建築技術科▲5、色彩デザイン科▲5
北見	75	60	▲15	電気工学科▲5、造形デザイン科▲5、機械技術科▲5
室蘭	30	20	▲10	金属加工科▲5、精密機械科▲5
苫小牧	30	30		
帯広	100	80	▲20	建築技術科▲5、造形デザイン科▲5、金属加工科▲10
釧路	50	45	▲5	電気工学科▲5
計	575	475	▲100	

【「改廃を含めた検討」の対象となる訓練科】

入校定員が最小の10名で、入校者数が3年連続して入校定員の1/2以下の場合は「改廃を含めた検討」の対象。下表の6科が該当。

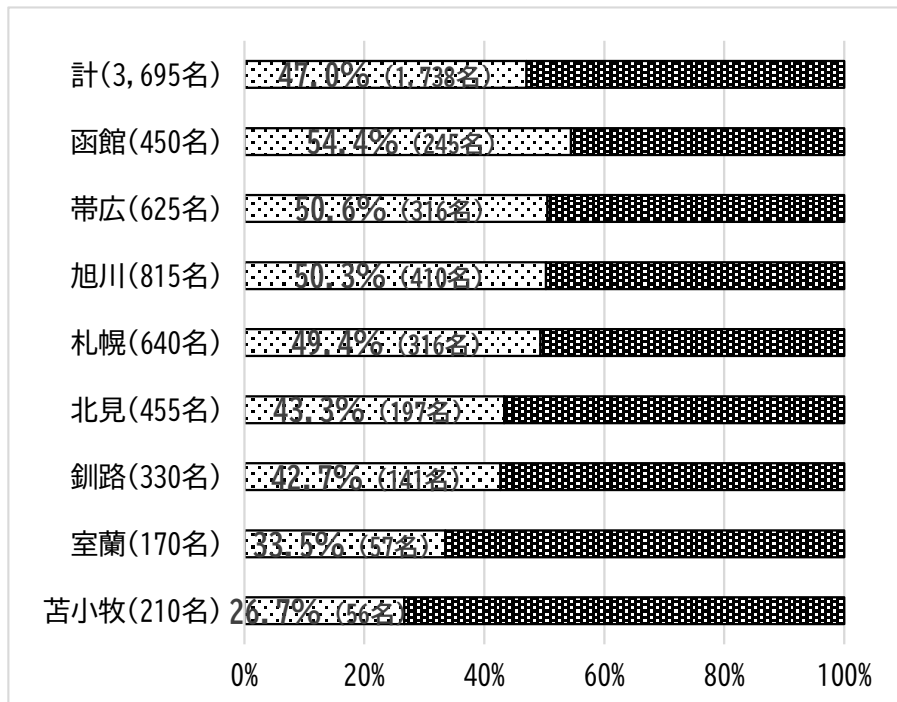
MONOテク	訓練科	入校状況 (1/2以下)	入校者数									
			H29	30	R元	2	3	4	5	6	7	平均
苫小牧	金属加工科	9年連続	5 / 10	3 / 10	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	2.2
苫小牧	精密機械科	9年連続	4 / 10	5 / 10	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	2.7
北見	建築技術科	4年連続	3 / 10	4 / 10	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	4.8
北見	造形デザイン科	3年連続	4 / 15	7 / 15	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	4.8
苫小牧	電気工事科	3年連続	8 / 10	7 / 10	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	4.9
帯広	金属加工科	3年連続	18 / 20	9 / 20	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	6.7

※表は、入校者/入校定員、を示している

MONOテク別に見た定員充足率

- R元～7年度の定員充足率を平均すると、47.0%。
MONOテク別では、苫小牧26.7%で入校定員の約1/4、室蘭33.5%で入校定員の約1/3の入校状況となっている。

【MONOテク別の定員充足率】



参考) グラフで縦軸のカッコは入校定員数 (R元～7年度合計)、
グラフ中のカッコは入校者数 (R元～7年度合計)

【左記グラフの内訳】

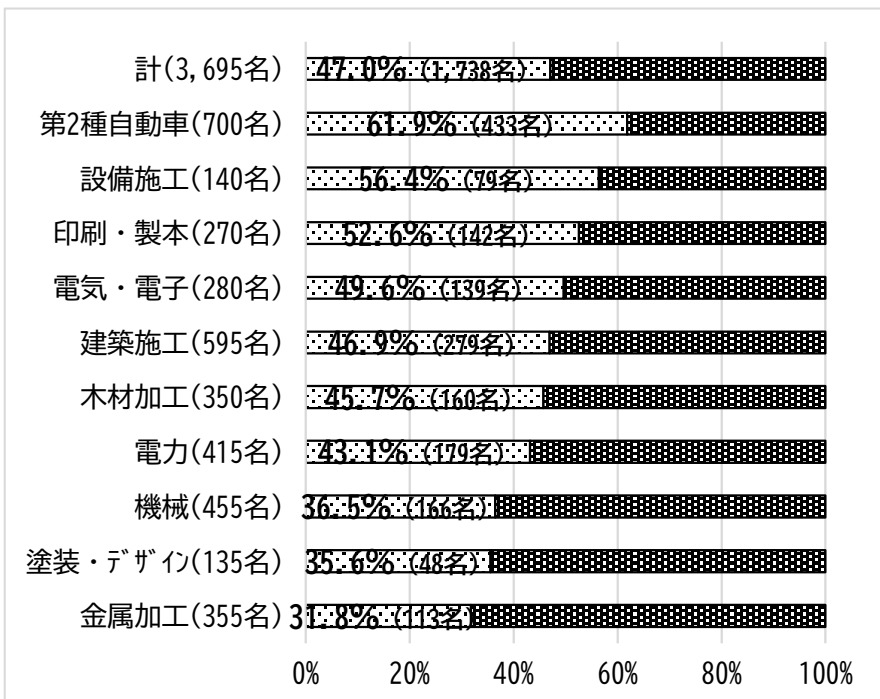
	R元	2	3	4	5	6	7	計	
札幌	精密機械	11 / 20	19 / 20	11 / 20	4 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	64 / 130
	金属加工	9 / 20	10 / 20	4 / 20	4 / 10	5 / 10	7 / 10	1 / 10	40 / 100
	建築技術	9 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	14 / 20	5 / 20	5 / 20	74 / 140
	電子印刷	11 / 20	10 / 20	12 / 20	7 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	59 / 130
	建築設備	11 / 20	14 / 20	8 / 20	13 / 20	10 / 20	8 / 20	15 / 20	79 / 140
計	51 / 100	70 / 100	46 / 100	41 / 90	45 / 90	32 / 90	31 / 70	316 / 640	
函館	自動車整備	18 / 20	13 / 20	15 / 20	16 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	103 / 140
	システム制御技術	9 / 20	9 / 20	13 / 20	10 / 20	9 / 20	11 / 20	10 / 20	71 / 140
	機械技術	9 / 20	4 / 20	4 / 20	6 / 10	6 / 10	2 / 10	2 / 10	33 / 100
計	43 / 70	31 / 70	40 / 70	33 / 60	41 / 60	30 / 60	27 / 60	245 / 450	
旭川	建築技術	7 / 20	4 / 20	6 / 20	14 / 15	9 / 15	12 / 15	7 / 15	59 / 120
	システム制御技術	9 / 20	7 / 20	11 / 20	14 / 20	6 / 20	15 / 20	6 / 20	68 / 140
	自動車整備	11 / 20	10 / 20	15 / 20	15 / 20	8 / 20	9 / 20	16 / 20	84 / 140
	印刷デザイン	18 / 20	6 / 20	14 / 20	11 / 20	9 / 20	8 / 20	17 / 20	83 / 140
	造形デザイン	15 / 20	12 / 20	10 / 20	13 / 20	7 / 20	4 / 20	7 / 20	68 / 140
	色彩デザイン	5 / 20	8 / 20	11 / 20	9 / 20	4 / 20	9 / 20	2 / 15	48 / 135
	計	65 / 120	47 / 120	67 / 120	76 / 115	43 / 115	57 / 115	55 / 110	410 / 815
北見	電気工学	6 / 15	3 / 15	4 / 15	4 / 15	8 / 10	3 / 10	2 / 10	30 / 85
	自動車整備	8 / 20	12 / 20	14 / 20	13 / 20	7 / 20	8 / 20	12 / 20	74 / 140
	造形デザイン	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	32 / 90
	建築技術	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	36 / 70
	機械技術(※)	2 / 10	4 / 10	4 / 10	1 / 10	6 / 10	3 / 10	5 / 10	25 / 70
計	35 / 70	34 / 70	30 / 70	26 / 65	26 / 60	21 / 60	25 / 60	197 / 455	
室蘭	金属加工	1 / 15	4 / 15	7 / 15	4 / 10	7 / 10	4 / 10	1 / 10	28 / 85
	精密機械	5 / 15	5 / 15	6 / 15	4 / 10	7 / 10	1 / 10	1 / 10	29 / 85
計	6 / 30	9 / 30	13 / 30	8 / 20	14 / 20	5 / 20	2 / 20	57 / 170	
苫小牧	金属加工	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	12 / 70
	精密機械	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	15 / 70
	電気工事	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	29 / 70
	計	8 / 30	5 / 30	11 / 30	13 / 30	4 / 30	7 / 30	8 / 30	56 / 210
帯広	建築技術	12 / 20	6 / 20	3 / 20	5 / 20	4 / 15	10 / 15	2 / 15	42 / 125
	電気工学	13 / 20	17 / 20	10 / 20	13 / 20	8 / 20	5 / 20	8 / 20	74 / 140
	造形デザイン	9 / 20	5 / 20	10 / 20	10 / 15	15 / 15	6 / 15	5 / 15	60 / 120
	金属加工	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	33 / 100
	自動車整備	20 / 20	15 / 20	10 / 20	16 / 20	15 / 20	15 / 20	16 / 20	107 / 140
計	59 / 100	52 / 100	33 / 100	53 / 85	47 / 80	41 / 80	31 / 80	316 / 625	
釧路	電気工学	7 / 20	5 / 20	6 / 20	11 / 15	4 / 15	6 / 15	7 / 15	46 / 120
	建築技術	6 / 10	7 / 10	5 / 10	4 / 10	6 / 10	1 / 10	1 / 10	30 / 70
	自動車整備	10 / 20	11 / 20	6 / 20	13 / 20	8 / 20	7 / 20	10 / 20	65 / 140
計	23 / 50	23 / 50	17 / 50	28 / 45	18 / 45	14 / 45	18 / 45	141 / 330	
合計	290 / 570	271 / 570	257 / 570	278 / 510	238 / 500	207 / 500	197 / 475	1738 / 3695	

参考) 北見「機械技術科」は、R元年度まで「電子機械科」

訓練科別に見た定員充足率

- 定員充足率のR元～7年度平均では、第2種自動車系（自動車整備科）61.9%が最も高い。
一方、金属加工系31.8%、塗装・デザイン（色彩デザイン科）35.6%と、訓練科別では定員充足率に差が見られる。

【訓練科別の定員充足率】



参考) グラフで縦軸のカッコは入校定員数 (R元～7年度合計)、
グラフ中のカッコは入校者数 (R元～7年度合計)

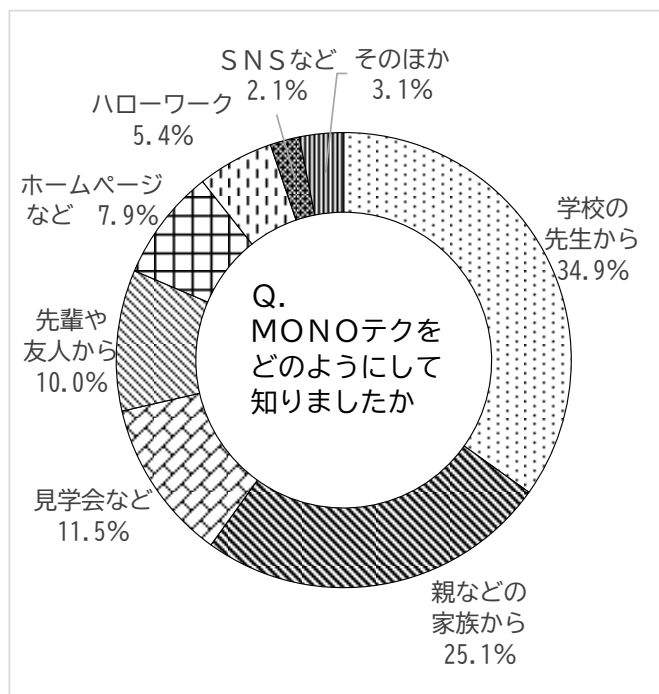
【左記グラフの内訳】

	R元	2	3	4	5	6	7	計	
機械	札幌	11 / 20	19 / 20	11 / 20	4 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	64 / 130
	函館	9 / 20	4 / 20	4 / 20	6 / 10	6 / 10	2 / 10	2 / 10	33 / 100
	北見	2 / 10	4 / 10	4 / 10	1 / 10	6 / 10	3 / 10	5 / 10	25 / 70
	室蘭	5 / 15	5 / 15	6 / 15	4 / 10	7 / 10	1 / 10	1 / 10	29 / 85
	苫小牧	2 / 10	2 / 10	5 / 10	1 / 10	1 / 10	1 / 10	3 / 10	15 / 70
計	29 / 75	34 / 75	30 / 75	16 / 60	28 / 60	13 / 60	16 / 50	166 / 455	
金属加工	札幌	9 / 20	10 / 20	4 / 20	4 / 10	5 / 10	7 / 10	1 / 10	40 / 100
	室蘭	1 / 15	4 / 15	7 / 15	4 / 10	7 / 10	4 / 10	1 / 10	28 / 85
	苫小牧	1 / 10	1 / 10	2 / 10	3 / 10	1 / 10	2 / 10	2 / 10	12 / 70
	帯広	5 / 20	9 / 20	0 / 20	9 / 10	5 / 10	5 / 10	0 / 10	33 / 100
	計	16 / 65	24 / 65	13 / 65	20 / 40	18 / 40	18 / 40	4 / 40	113 / 355
建築施工	札幌	9 / 20	17 / 20	11 / 20	13 / 20	14 / 20	5 / 20	5 / 20	74 / 140
	函館	7 / 10	5 / 10	8 / 10	1 / 10	9 / 10	4 / 10	4 / 10	38 / 70
	旭川	7 / 20	4 / 20	6 / 20	14 / 15	9 / 15	12 / 15	7 / 15	59 / 120
	北見	10 / 10	10 / 10	6 / 10	4 / 10	2 / 10	2 / 10	2 / 10	36 / 70
	帯広	12 / 20	6 / 20	3 / 20	5 / 20	4 / 15	10 / 15	2 / 15	42 / 125
	釧路	6 / 10	7 / 10	5 / 10	4 / 10	6 / 10	1 / 10	1 / 10	30 / 70
	計	51 / 90	49 / 90	39 / 90	41 / 85	44 / 80	34 / 80	21 / 80	279 / 595
印刷・製本	札幌	11 / 20	10 / 20	12 / 20	7 / 20	8 / 20	6 / 20	5 / 10	59 / 130
	旭川	18 / 20	6 / 20	14 / 20	11 / 20	9 / 20	8 / 20	17 / 20	83 / 140
	計	29 / 40	16 / 40	26 / 40	18 / 40	17 / 40	14 / 40	22 / 30	142 / 270
設備施工	札幌	11 / 20	14 / 20	8 / 20	13 / 20	10 / 20	8 / 20	15 / 20	79 / 140
	北見	6 / 15	3 / 15	4 / 15	4 / 10	8 / 10	3 / 10	2 / 10	30 / 85
	苫小牧	5 / 10	2 / 10	4 / 10	9 / 10	2 / 10	4 / 10	3 / 10	29 / 70
	帯広	13 / 20	17 / 20	10 / 20	13 / 20	8 / 20	5 / 20	8 / 20	74 / 140
	釧路	7 / 20	5 / 20	6 / 20	11 / 15	4 / 15	6 / 15	7 / 15	46 / 120
計	31 / 65	27 / 65	24 / 65	37 / 55	22 / 55	18 / 55	20 / 55	179 / 415	
第2種自動車	函館	18 / 20	13 / 20	15 / 20	16 / 20	17 / 20	13 / 20	11 / 20	103 / 140
	旭川	11 / 20	10 / 20	15 / 20	15 / 20	8 / 20	9 / 20	16 / 20	84 / 140
	北見	8 / 20	12 / 20	14 / 20	13 / 20	7 / 20	8 / 20	12 / 20	74 / 140
	帯広	20 / 20	15 / 20	10 / 20	16 / 20	15 / 20	15 / 20	16 / 20	107 / 140
	釧路	10 / 20	11 / 20	6 / 20	13 / 20	8 / 20	7 / 20	10 / 20	65 / 140
	計	67 / 100	61 / 100	60 / 100	73 / 100	55 / 100	52 / 100	65 / 100	433 / 700
	木材加工	旭川	15 / 20	12 / 20	10 / 20	13 / 20	7 / 20	4 / 20	7 / 20
北見	9 / 15	5 / 15	2 / 15	4 / 15	3 / 10	5 / 10	4 / 10	32 / 90	
帯広	9 / 20	5 / 20	10 / 20	10 / 15	15 / 15	6 / 15	5 / 15	60 / 120	
計	33 / 55	22 / 55	22 / 55	27 / 50	25 / 45	15 / 45	16 / 45	160 / 350	
電気・電子	函館	9 / 20	9 / 20	13 / 20	10 / 20	9 / 20	11 / 20	10 / 20	71 / 140
	旭川	9 / 20	7 / 20	11 / 20	14 / 20	6 / 20	15 / 20	6 / 20	68 / 140
	計	18 / 40	16 / 40	24 / 40	24 / 40	15 / 40	26 / 40	16 / 40	139 / 280
塗装・デザイン	旭川	5 / 20	8 / 20	11 / 20	9 / 20	4 / 20	9 / 20	2 / 15	48 / 135
	合計	290 / 570	271 / 570	257 / 570	278 / 510	238 / 500	207 / 500	197 / 475	1738 / 3695

2. 認知度の低さ

- MONOテク訓練生がMONOテクを知った経緯は、身近な人たちからの「人づて」が多い。「SNSやホームページから知った」とする割合は、1割未満と低い。

【訓練生におけるMONOテクの認知度】



回答	R7		R6 (参考)	
	回答数	割合	回答数	割合
学校の先生から聞いて知った	167	34.9%	182	32.1%
親などの家族から聞いて知った	120	25.1%	146	25.7%
見学会などで訪問したことがあり知った	55	11.5%	67	11.8%
先輩や友人から聞いて知った	48	10.0%	56	9.9%
ホームページなどで知った	38	7.9%	49	8.6%
ハローワークからの紹介で知った	26	5.4%	41	7.2%
SNSなどで知った	10	2.1%	13	2.3%
その他	15	3.1%	13	2.3%
計	479	100.0%	567	100.0%

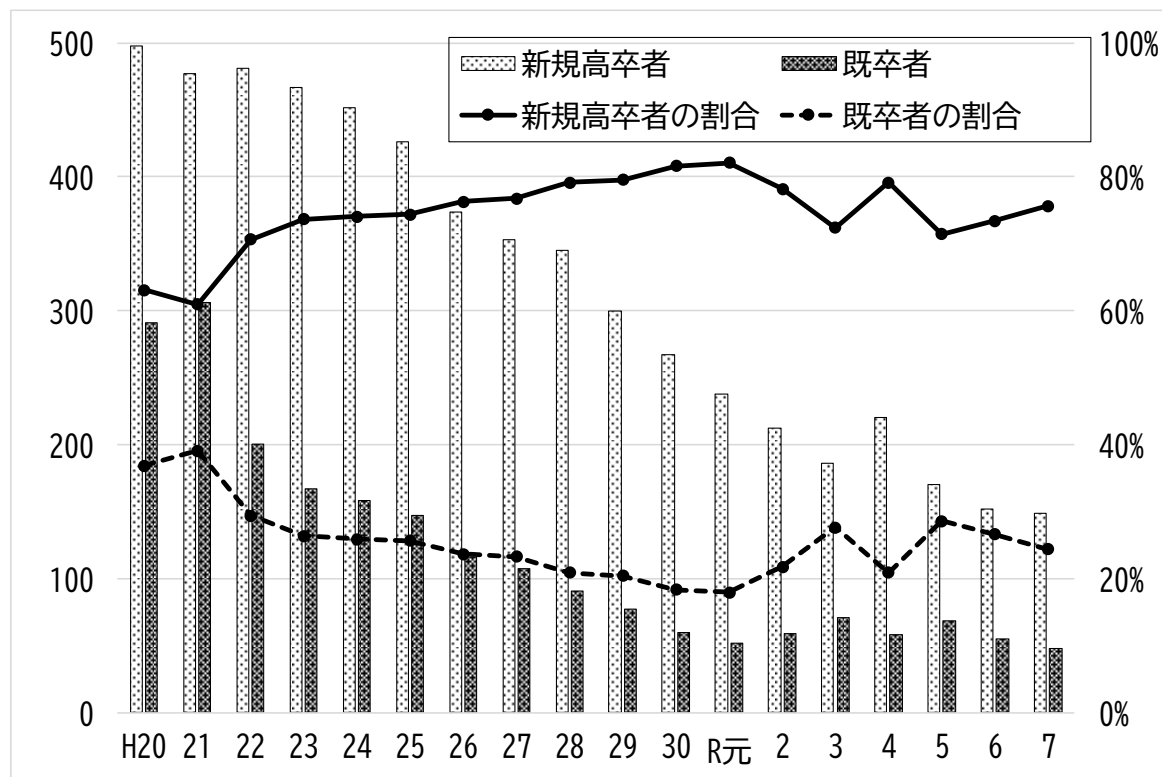
※有効回答者数（1年・2年の計）は、R7：339人、R6：389人。複数回答可

◆例年、MONOテク訓練生を対象に、MONOテクを受けた動機、訓練内容への満足度などに関するアンケートを実施。上記内容は、R7年度の実施結果をまとめたもの。「人づて」計69.9%（先生34.9%、家族25.1%、先輩や友人10.0%）で最も多く、「SNSやホームページ」は10.0%。

3. 入校者のうち新規高卒者が占める割合の高さ

- 今後、少子化の進行によって新規高卒者は減少する見込み。
一方、MONOテクの入校者のうち7割以上は新規高卒者であるため、今後は、既卒者の入校促進が必要。

【入校者のうち既卒者の割合】



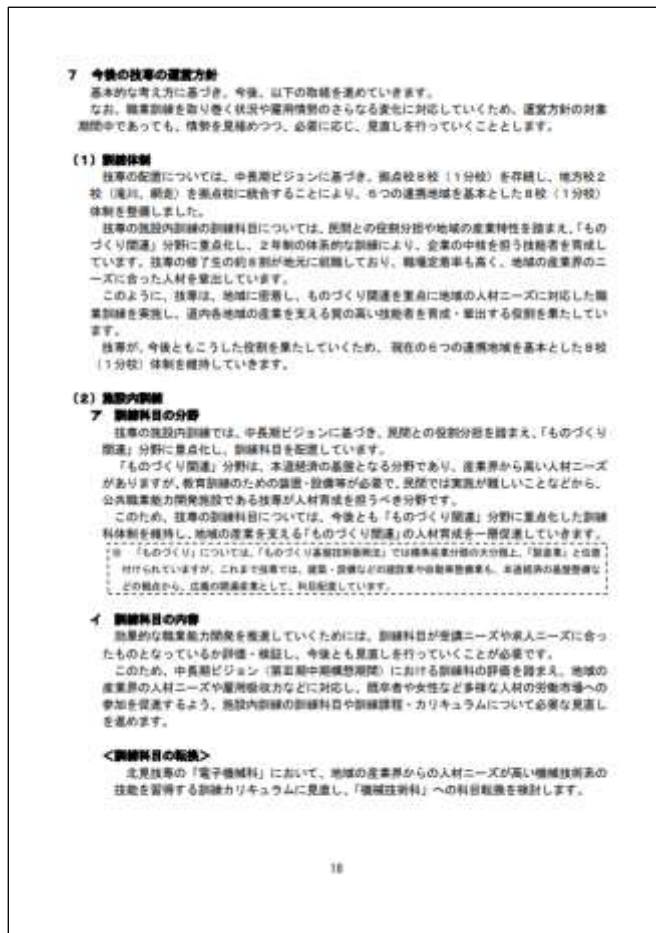
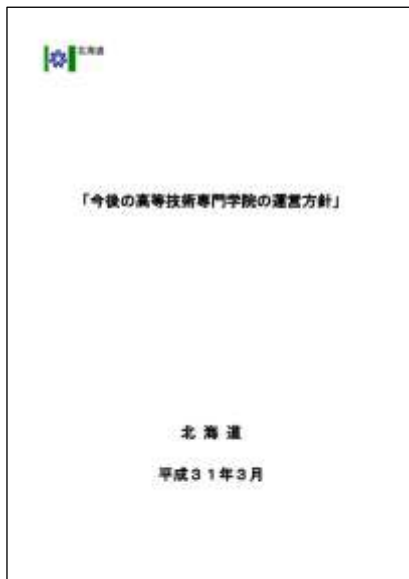
	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6	7
新規高卒者	498	477	481	467	452	426	374	353	345	300	267	238	212	186	220	170	152	149
既卒者	291	306	200	167	158	147	116	107	91	77	60	52	59	71	58	68	55	48
計（入校者）	789	783	681	634	610	573	490	460	436	377	327	290	271	257	278	238	207	197
新規高卒者の割合	63.1%	60.9%	70.6%	73.7%	74.1%	74.3%	76.3%	76.7%	79.1%	79.6%	81.7%	82.1%	78.2%	72.4%	79.1%	71.4%	73.4%	75.6%
既卒者の割合	36.9%	39.1%	29.4%	26.3%	25.9%	25.7%	23.7%	23.3%	20.9%	20.4%	18.3%	17.9%	21.8%	27.6%	20.9%	28.6%	26.6%	24.4%

VI. H31年3月策定「運営方針」の点検・評価

1. 概要

- 平成31年3月策定「今後の高等技術専門学院の運営方針」に基づく、令和7年度までの取組の実績等を点検・評価する。

【運営方針】



◆点検・評価の対象は、運営方針の「7 今後の技専の運営方針」に記載の「(1)訓練体制、(2)施設内訓練、(3)入校生の確保対策」など。